12月　幼稚園だより

尾久幼稚園マスコットキャラクター
おぐっぽー

風の子

令和６年11月 29日
荒川区立尾久幼稚園
園長　　石塚　秀行

ホームページ
https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/ogu/index.html

想像の世界を楽しむ

主任教諭　小川 麻友美

芋ほり遠足では、土を掘っても、掘っても、掘りだせない位の大きなサツマイモが採れました。園に戻り、重さを図ってみると３kg越えのサツマイモもありました。畑の方も、「夏の暑さの影響かな」と話されていました。身近にも温暖化の影響があるのだと感じました。

11 月中旬、詩人の谷川俊太郎さんが亡くなられました。園にも谷川俊太郎さんが訳された絵本がたくさん並んでいます。『スイミー』（好学社）も、その 1 冊です。レオ＝レオニの絵に、谷川俊太郎さんが訳した「ドロップみたいな いわから はえてる こんぶや わかめの はやし…」「そして かぜに ゆれる ももいろの やしのきみたいな いそぎちゃく」という言葉があります。幼い頃、海に広がる世界を想像し、「見てみたいな」「潜ってみたい」と心躍らせたことを思い出しました。

今、そら組の子供たちは『たんたのたんけん』（Gakken）からイメージを広げ、「どんなところに探検したいかな」「何が出てくると思う？」「そうしたらどうなる？」と創造の世界を楽しみ、劇遊びをしています。友達と互いのイメージを出しながら、話し合いながら創る姿があります。尾久幼稚園では、日頃から保護者の方にもご協力いただき絵本を楽しむ機会を設けてきました。ご家庭での絵本読み聞かせで話を弾ませながら楽しんでいただいていることが、子供たちの豊かな想像･創造力に繋がっていると思います。

荒川区は、荒川ゆいの森をはじめ、充実した図書館がたくさんあります。冬休みの期間中に色々な本に出会える図書館に行ってみてはいかがでしょうか。

2学期も本園の教育活動へのご理解とご協力をありがとうございました。皆様が健やかに新年を迎えられることを願っております。

１２月のねらい

《５歳　そら組》

- 友達と一緒にルールをつくったり遊び方を考えたりしながら、体を動かす楽しさを味わう。
- 友達と共通の目的に向かい、思いや考えを伝え合いながら遊びや生活を進める楽しさを感じる。
- 冬の伝統行事や遊びに興味や関心をもち、進んで参加したり取り組んだりする。